

令和3年8月23日

新型コロナウイルス感染者の発生について

8月20日、21日にかけて当院入院中の患者3名が新型コロナウイルスに感染していることが判明しましたのでご報告いたします。

3名の患者さんはいずれも軽症で当院の感染症病棟で治療中ですが、入院後10日～34日が経過しており、感染経路は現在調査中です。患者さんと接触のあった入院患者や職員には抗原定量検査（PCRと同等の感度）を行いました。現時点ではすべて陰性でした。

引き続き感染経路の調査と感染者が発生した病棟における患者さんと職員の健康管理を行い、感染拡大の防止に万全を期してまいります。

新型コロナウイルスへの対応につきましては、これまで細心の注意を払ってまいりましたが、このような事態となり、患者さんはじめご家族、地域の皆様にご心配をおかけしていることを深くお詫びいたします。

当院といたしましては、更なる感染防止対策に職員一丸となり全力で取り組むとともに、安全を確認したうえで診療機能を維持してまいります。一般の外来診療は通常通りですが、入院診療については、新規入院を一部休止させていただいております。

また、8月20日から、まん延防止等重点措置に準じて、病院への入館制限を厳しくしております。ご不便をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。

今後とも、地域の医療ニーズに応え、患者さんが安心して診療をうけていただけますよう、職員一丸となって取り組んでまいりますので、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

高松赤十字病院 院長
西村 和修